

略称「かけプロ」

「教科×ことば」プロジェクト 第6回研究会

参加
無料

本プロジェクトは、初等中等教育段階の教科学習を「ことばの教育」の観点から再構成するための実践・研究のプラットフォームとして、人と人をつなぎ、経験や知見を共有し、そこから新たな取り組みを生み出すことをめざしています。

今回のテーマは「見取り」の共有と協働です。日常生活や学習活動での子どもの様子から教師は何をどのように見取っているのか、それを関係者間でどのように共有し、どのように生かしているのか（いないのか）。日本語指導教員と学級担任のお立場から、それぞれのご経験をお話いただき、学校や地域での教育活動における理想的な協働のかたちを探る機会にしたいと思います。後半のディスカッションでは、見取りの共有と関係者間の協働に「対話型アセスメントDLA」「ことばの力のものさし」などの評価の枠組みを活用する方策とその限界について意見交換できればと考えています。さまざまなご経歴、ご関心をお持ちのみなさまの幅広いご参加をお待ちしております。

日時

2026年

8/22 土
13:00～16:00

場所

国士舘大学
世田谷キャンパス
柴田会館3階 研修室

「見取り」の共有と協働

—評価の枠組みがもつ可能性と限界—

プログラム
(開場12時30分)

- | | |
|-----------------|---|
| 13:00～13:10 | ・・・趣旨説明 |
| 13:10～13:50 | ・・・話題提供1：子どもの見取りをどう生かすか
—日本語指導教員の立場から— (辻野 晶子 氏) |
| 13:50～14:30 | ・・・話題提供2：学級担任の見取りと導入の工夫
—どの子も参加できる授業へのチャレンジャー— (市川 成章 氏) |
| 【休憩】14:30～14:45 | |
| 14:45～15:30 | ・・・グループディスカッション |
| 15:30～15:50 | ・・・全体共有 |
| 15:50～16:00 | ・・・総括 |

市川 成章

(静岡市立小学校教諭)

小学校教諭11年目。元日本語指導教員。
浜松のブラジル人学校での調査経験から、
小学校教師を志す。

辻野 晶子

(静岡市立小学校教諭)

中学校の学級担任を経て、日本語指導教員4年目。
大阪での識字教室ボランティア経験から、
外国ルーツの子どもたちの教育に関心をもつ。

立花 有希

(宇都宮大学)

専門は比較教育学。
研究領域はドイツにおける移民の子どもたちの言語教育。

小池 亜子

(国士舘大学)

専門は教育学、日本語教育。
研究領域は外国人児童生徒等教育、教員研修。



下記 URL または右の QR コードから
8月20日(木)までにお申し込みください。
(参加無料)



<https://forms.gle/zkYMS8L6zonteQ8k9>

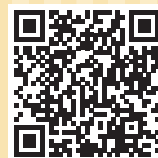
会場アクセス

国土舘大学 柴田会舘3階 研修室

※柴田会舘は、世田谷キャンパス敷地の外、
世田谷区役所向かいです。

下記 URL キャンパス案内図の9番の建物です。

<https://www.kokushikan.ac.jp/information/campus/setagaya/>



ー プロジェクト名について ー

「教科 × ことば」プロジェクトという名称には、すべての教科教育を「ことばの教育」として捉え、〈教科の教育／学習〉と〈ことばの教育／学習〉との相乗的な展開を志向する意味をこめています。「かけプロ」という略称から、「教科 × ことば」にとどまらず、実践 × 理論、経験 × アイディア、産 × 官 × 学、母語 × 第二言語など、さまざまな掛け合わせを感じ取っていただけたら幸いです。

